



耳鼻咽喉科特集

2002年4月、ユニチカ中央病院から宇治武田病院に生まれ変わり、今年で20年目となります。病院移設当初から耳鼻咽喉科では常勤医師が1人で、入院治療の必要な疾患や手術症例などに十分に対応できない状態でした。隣接する市町や宇治市には耳鼻咽喉科を設置している医療施設が非常に少なく、皆さんにはご不便をおかけしておりました。

副部長

但吉 民江

Tamie Tajiyoshi



職歴プロフィール

- ・大阪医科薬科大学
- ・大阪医科薬科大学関連病院にて勤務
- ・済生会中津病院
- ・大阪医療センター
- ・市立ひらかた病院
- ・北摂総合病院

上記を解決すべく、2021年4月からは常勤医師2人、非常勤医師（大学病院派遣）の外来診療応援という形で診療体制を強化しております。診療科内での情報共有はもちろんのこと、他の診療科とも連携し、適切な診断治療を心がけています。

時代の変遷とともに治療指針が変更されたり、新しい疾患概念が出現したりと耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域内だけでも少しずつ変化は見られます。それに加え、新型コロナウイルスの流行により耳鼻咽喉科の役割もこの数年で大きく変化してしまいました。今後は当科もこれに対応・進化することで、コロナ禍においてもより良い医療を提供できるように邁進してまいります。

医長

寺園 貴浩

Takahiro Terazono

職歴プロフィール

- ・神戸大学医学部附属病院
- ・神戸労災病院
- ・北播磨総合医療センター
- ・兵庫県立がんセンター
- ・沖縄県立八重山病院
- ・神戸大学医学部附属病院

外来診療

外耳炎、急性中耳炎、老人性難聴、アレルギー性鼻炎、急性咽頭炎などの診察治療から、急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、突発性難聴、（末梢性）顔面神経麻痺などに対する点滴治療も実施しております。

また、甲状腺腫瘍を始めとする頭頸部腫瘍や頸部リンパ節腫脹、慢性中耳炎などの精密検査なども行っております。専門外来では認定補聴器店と連携し補聴器フィッティングも実施しております。



手術加療

従来は手術症例をあまり扱っておりませんが、今後は環境整備を行いながら外来小手術、全身麻酔手術も実施していく予定です。

ただ、COVID-19の流行状況により入院や手術の制限を行う場合もありますので、しばらくは流動的な対応となることが予測されます。皆さんにご不便をおかけする点もあると思われまますが、最善策を見いだせるよう努力してまいります。

ビデオスコープ

病診連携

月曜日から土曜日まで毎日午前診察を行っており、耳鼻咽喉科医院・クリニックやその他の診療科の先生方からの紹介もお受けしております。当院受診をご希望される方はかかりつけ医の先生に、主治医の先生方は当院地域医療連携室にご相談ください。

尚、当院での検査後、診断および加療が困難と思われる症例につきましては、診断治療可能な医療機関にご紹介させていただいておりますのでご安心ください。

当院の感染対策

当院では、十分な感染対策のもと診療を行っております。「気になる症状を抱えているが受診がためられる」という方は一度受診をご検討ください。

対応可能手術

鼓膜換気チューブ挿入術（小児も可）、口蓋扁桃摘出術（成人のみ）、アデノイド切除術、慢性副鼻腔炎に対する鼻副鼻腔手術、鼻中隔湾曲症に対する矯正術、アレルギー性鼻炎に対するレーザー手術など。

上記に記載のない術式でも対応可能な場合がございますので、一度ご相談ください。

地域医療連携室から

平素は大変お世話になりありがとうございます。今回ご紹介させて頂きました耳鼻咽喉科 但吉民江 副部長は火・金の午前診、寺菌貴浩 医長は月・水の午前診を担当しております。ご予約に関しましては、地域医療連携室までご連絡ください。今後とも宜しく願い申し上げます。

宇治武田病院 地域医療連携室

ホームページはこちら▶

TEL: 0774-25-2062 (直通)

月曜日～金曜日 / 8:30～17:00

FAX: 0774-25-2660 (直通)

土曜日 / 8:30～12:45

※日曜日・祝日・年末年始はお休みさせていただいております。



理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R（減らす、再利用、再資源化）の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進